



# おのみ



令和4年度 4・5月号  
志布志市立尾野見小学校

## 尾野見小のひな達のために

校長 宗岡 克英

2月に校庭の隅にある木に巣箱を設置しました。朝夕、巣箱を観察していましたが鳥が巣箱に入る気配はありませんでした。3月27日、春休み中の日曜日に校庭を散策していると、1匹の鳥がすうーっと巣箱に入っていくのを見かけました。「ひょっとしたら」と私は思いました。半信半疑で巣箱のふたを開けてみると、その中にはわらで作られた巣がありました。そして巣の真ん中に1個の卵が産みつけられていました。「やったー!」。私は半分あきらめかけていたのでとても嬉しくなりました。



1週間後、巣箱のふたをゆっくりと開けてみました。親鳥がうずくまりじっと卵を抱えていました。シジュウカラでした。その鳥は、私の気配を感じていましたが、卵を抱えたまま微動だにしませんでした。我が子を守り抜くという強い意思を感じました。私はそおっとふたを閉じました。

2週間後、巣箱のふたを開けて中をのぞいてみました。6羽のひながかえっていました。親鳥はいませんでした。それぞれのひなはまだ毛が生えておらず、肌はピンク色をしていました。私のことを親鳥と思ったひなは大きく口を開け、餌をねだります。生きるため

に精いっぱい首を伸ばし、口を大きく開けてきます。「チチチチッ」木の枝の向こうから鳥の鳴き声がしました。親鳥が私に警告してきたように感じました。「それ以上ひなに近づくな!」と。私のことを敵だと思ったようです。親鳥も必死です。私はふたを閉じて巣箱から離れました。

本年度、尾野見小学校に15人の新生が入学してきました。黄色い帽子をかぶり、毎朝元気に登校しています。転入生も2人入りました。全校児童72人でのスタートです。一生懸命生きようとしているひな達を見ていると、これらのひな達が尾野見小の児童に見えてきます。そして、ひな達がすくすくと成長して自分の力で巣箱を飛び立てるように手助けすることが私の仕事だと思いました。本校の教職員、そして保護者や地域の皆さんと力を合わせ協力しながら。



本年度も尾野見小の児童のために工夫をしながら様々な教育活動を行なっていきます。どうぞよろしくお願いいたします。